

東京都健康推進プラン21（第二次）第4回策定会議で出された意見（抜粋）

素案について

■ パブリックコメントに寄せられたご意見に関して

- ずいぶん偏った意見が多い印象を受けたが、衣類という記載を省いたのは科学的根拠があまりないので極めて適切かと思う。必要に応じて禁煙指導を行うという部分も、意見を勘案すればいた妥当表現かと思う。
- 世界の法規制の流れは屋内禁煙であり、屋外では厳しくしなくてもという意見はもつとも。ただ、敷地内禁煙について、教育機関と保健医療機関とを残すということは極めて合理的。この表現でいいと思う。
- 吸う人の権利ばかりが主張されているが、吸わない人の権利や受動喫煙を避けたい権利も大切なこと。吸わない人がもっと声を上げ、受動喫煙に反対するということを広めていくことも必要。
- 精神障害者の就労支援の意見に関して。あえて入れるなら、地域のつながりの部分で、健常な方の社会参加だけではなく、幅広い人々の社会参加ということを入れてみてはよいのでは。

■ その他、素案の内容に関して

- 第3章の65歳健康寿命の説明に関して。地域差があるというデータが出ているが、地域差というものは、生活習慣によるものというよりも空気、気温、緑、水や騒音等も入れた環境要因の方が科学的根拠があると思うのだが。
- 分野「社会環境整備」に関して。地域のつながりに終始している感がある。人々のつながりは、地域だけではなく、職場、学校の中でのつながりも大事なこと。
- 第5章の参考資料に食生活指針や食事バランスガイドを入れることは栄養分野としては嬉しいが、他の分野でもエクササイズガイドやいろいろな指針が出ている。載せるのだったら他の分野も載せた方がよいのでは。
- 分野「歯・口腔の健康」に関して。よく噛むことによって口腔機能の維持向上ができることが、顎関節等の健やかな成長につながる。この辺りをどこかに入れられればよいのだが。
- 分野「飲酒」の分野別目標に関して。「健康に影響を及ぼす…」と表現しているが、健康に影響を及ぼすというのは、いい影響も悪い影響もあると思う。少量飲酒であったら、心筋梗塞を予防するエビデンスもある。指標では、生活習慣病のリスクをとはっきりと書いてあるので分かるのだが、表現の工夫が必要だと思う。

○前回の計画では、各自治体の事例を載せていた。取組の参考になるので、今回も載せてみてはどうでしょうか。

○分野「喫煙」の都民および推進主体の取組に関して。分野「飲酒」では、児童・生徒及び保護者に普及啓発をすとなっているが、「喫煙」では、保護者という表現が入っていない。未成年がたばこを吸い始めるのは、家庭でという割合が高いので、保護者にもなるだけ早い時期に、喫煙の危険性を認識してもらう必要があるのではないか。